

ハンググライディングシリーズ大会結果報告書 (各競技日毎の結果)

第 3 日目	2017 年 2 月 11 日	不成立
--------	-----------------	-----

参加の意志表示をした選手数	Nto	人	大会有効率	DQ	
上記 Nto の内の A シード選手数	S	人	ゲートオープン累計時間		
上記 Nto の内の B シード選手数	S	人			
上記 Nto の内の C シード選手数	S	人			

タスク / 設定パイロン (名称) :

 気象条件 : 強風のためキャンセル

 概要 :

第 4 日目	2017 年 2 月 12 日	成立
--------	-----------------	----

参加の意志表示をした選手数	Nto	53 人	大会有効率	DQ	1
上記 Nto の内の A シード選手数	S	10 人	ゲートオープン累計時間		1:45
上記 Nto の内の B シード選手数	S	7 人			
上記 Nto の内の C シード選手数	S	6 人			

タスク / 設定パイロン (名称) : T0-D12(船渡)-K13(牛)-D02(JR)-B00(L タン)-P06(水門)-K27(大水門)-K39(ソーラー)-A01

 (高校)--D04-(井坂橋)-ZAL(竜門 LD)
 気象条件 : 曇り時々晴れ 北西 4m 雲底高度-1100m ~ 1200m

 概要 :
 最終日の予報では冬型の気圧配置が続き北風が強く寒波のため雪が降る一であったが競技可能な天候となり上記のタスクが決められた。テイクオフオープンの頃は T0 高度では北西 3m 前後のサーマルコンディションとなり同じルートの往復でタスク距離が短いかと報告者は心配した。ゴール者は 20 人出たがタスクの向かい風ルートは L/D が悪く獲得高度も低い為進めず、リフトのある川沿いのタスクのせいでゴール者も出て良い競技になったと思う。裏方のタスク・セーフティコミティを引き受けてくれた 4 名を高く評価したい成績で注目すべきは優勝者の板垣選手のタイムで 2 位の鈴木 (由路) 選手に 8 分近い差を付けたのは驚きである。

ハンググライディングシリーズ大会結果報告書 (各競技日毎の結果)

第 日目	20 年 月 日	成立・不成立
------	----------	--------

参加の意志表示をした選手数	Nto	人	大会有効率	DQ	
上記 Nto の内の A シード選手数	S	人	ゲートオープン累計時間		
上記 Nto の内の B シード選手数	S	人			
上記 Nto の内の C シード選手数	S	人			

タスク / 設定パイロン (名称) :

 気象条件 :

 概要 :

第 日目	20 年 月 日	成立・不成立
------	----------	--------

参加の意志表示をした選手数	Nto	人	大会有効率	DQ	
上記 Nto の内の A シード選手数	S	人	ゲートオープン累計時間		
上記 Nto の内の B シード選手数	S	人			
上記 Nto の内の C シード選手数	S	人			

タスク / 設定パイロン (名称) :

 気象条件 :

 概要 :

